

昭和46年 第5号

昭和46年 6月15日発行

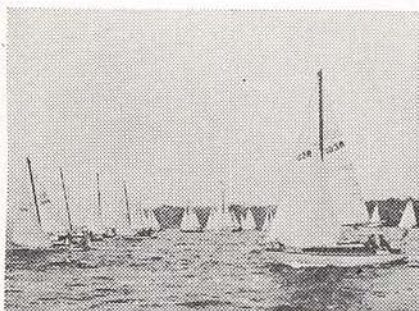
発行人

海事思想普及委員会

東京都港区芝虎ノ門15(虎ノ門ビル7階)

電話・東京 03 (503) 6014 千 105

社団法人 日本外洋帆走協会



制作/オーシャンライフ編集部

## 目次

|                   |      |    |
|-------------------|------|----|
| 第9回通常総会について       | 芦田等  | 1  |
| 豊かなシーマン・シップで協力を   | 秋田博正 | 2  |
| 岐路に立つNORC         | 横山晃  | 3  |
| 本部と支部の活動の接点       | 角田博  | 4  |
| 活動の基本理念を考える       | 渡辺修治 | 5  |
| 柔軟なヨットライフの方向づけを   | 金原良一 | 6  |
| NORCのメンバー・シップについて | 高村孝  | 6  |
| 事務局だより            |      | 7  |
| お知らせ              |      | 8  |
| NORC登録艇一覧         |      | 11 |
| 1971年度レース要項       |      | 12 |

総会  
報告

## 第9回通常総会について

芦田 等

去る2月27日、東京都千代田区平河町の全共連ビル内マツサロンにおいて開かれた第9回の通常総会をご報告します。

出席者は特別会員70名、正会員266名で会場は満員、委任状の提出は特別会員106名、正会員237名、出席者および委任状提出者の合計が会員総数の1,267名の過半数をこえるので総会は無事成立。出席者数と委任状提出者数は、総会のたびに事務局が気をむところ、今後も出席されない会員はなるべく早めに必らず委任状を返送してほしいものです。

## ◇各議案を決める◇

第1号議案は昭和45年度の事業報告とその収支決算について。名和総務担当理事よりの説明。本部事務費についての質問があり、原案どうり可決。ちなみに本部事務費は3ヵ月だけ本部の費用であとは関東支部の負担。

第2号議案は、昭和46年度の事業計画とその収支予算。

質問その1は助成金について。助成金は昨年度200万のところ今年度160万に減らされることが予想され(のち予想どうり160万に決定されました)、助成金の性格、その交付を受けるに至った経緯等について社団法人日本外洋帆

走協会の発足当時の担当であった飯島理事より説明があり、新しい会員にとってはNORCの歴史の舞台裏をちょっとのぞいたような感じだったようです。

質問その2は計測料について。なぜシーボニア・ヨットクラブだけで計測を行っているのかという質問に対して、IOR計測の説明や船台等の問題から現在ではシーボニアに限定されている事情の報告があり、異議なく了承され、第2号議案も可決されました。

第3号議案では、新たに入会する者は、特別会員または正会員2名の推せんが必要になることが可決されました。これまでは、入会に際しては何の制限もなかったのですが、会員数も増加して裾野が広がる一方の現状では入会者の人物保証の意味もかねて、このような資格制限も当然のことと言えましょう。

第4号議案は会費未納者の除名処分の件、第5号議案は資産変更の件と、異議なく可決されました。(除名処分については、さらに充分にチェックをした上でという附帯条件)

## ◇運営のあり方を討議◇

第6号議案の「その他」に移って、議事は非常に緊迫し

たものとなりました。

それは石原慎太郎オーナーの動議で、今後の役員等の人選のありかたについて、人事選考委員会（仮称）を作って、事業計画に添った適任者を選び事業ごとに担当理事をきめる等のことも必要であろう、（税金対策担当、クラブハウス建設担当、日本ヨット協会の窓口担当等）というものです。現体制に対する鋭い批判の意味もあり、現任理事側から、これまでの人選の方法等について説明などがありましたが、発足当時のこじんまりしたクラブが成長して、会員数1,300人を数えるに至った現在のNORCの運営が従来の有志による手弁当の労働奉仕ではその限界に達しているというのが実情かと思われます。

関連した問題としてクラブハウスの設立について論議がたたかわされましたが、賛否について決をとったところ賛成が多数を占め、そのための経費、維持の方法等について充分検討を要するため、委員会を作ることとなって希望者を募り、その結果、石原慎太郎、平野喜美夫、落合公平、金原良一、富永幸太郎、亀井澄夫、大野昉、東出実の八氏が委員に決定されました。

ついで、理事および関東支部の常任委員選出について、人事選考委員会を作るべきであるということに意見の一致をみ、フリート単位で10艇に1人（10艇未満のフリートも1名）の委員を選出することとなり、その委員によって次期の理事および常任委員の候補者を選出、総会にはかるこ

ととなりました。

人事選考委員会を作って次の役員を選び出すという考え方は、NORC発足以来の画期的なことであり、役員には20才台の若い人も必要であるという意見なども活発に出され、選考委員会による役員の出出がどういう顔ぶれになるかその結果はともかく、新しい風が吹きはじめたことは事実で、この方式がよい結果をうんで、NORCの結そくが一段と強まり、運営がさらに前進するようになることが期待されます。

動議の第2は、第8回臨時総会で除名処分となった「エビキュリアンII」事件の関係者2名の処分解除について、石原オーナーと福吉会員より提出されたもの。所属の東海支部長よりは東海支部においてまず充分検討してからにしてほしいとの要望がありましたが、一応本総会出席者の意見を参考にして、再入会の申出があった時点で理事会で決定することとなり、前記2名の再入会の可否について賛否の決をとった結果、再入会を容認する者が過半数を占め、理事会においてこの結果を充分参考にして決定されることになりました。

動議その3は、レース参加料を艇長よりも徴集することに変更したい旨の福永レース委員長の動議で異議なく可決。

以上によって議案、動議のすべての審議を終り、6時30分、議論の活発だった総会を終了しました。（関東総務）

## 豊かなシーマン・シップで協力を

—— 通常総会に出席して ——

秋田博正

先般の日本外洋帆走協会通常総会についての所感を記すように依頼されましたが、私は一言にしていえば、従来の日本オーシャン・レーシング・クラブが社団法人日本外洋帆走協会と改組、改名されたことに諸々の問題発生の由来があるのではあるまいかと思えます。

クルーザー乗りのある意味では自然発生的なグループが、年々会員も艇も増加して、その社会的使命も加わり、社団法人日本外洋帆走協会とややかたくなるしい存在となりましたが、会員の心の底にはヨットマンとしての海の男の集いであり、何にも拘束されないクラブへの深い愛着が強く残っていることと思えます。

クラブであれば、お互のことだと問題にもされなかったことが、形態の変化、それと会員数の激増という事情で複雑になったことは否定できないと思えます。

二つの性格を持った組織、ここに問題があると思えます。しかし、所詮はお互いヨットマンであり、潮気こそわれわれの最も大切にしている所です。大らかな心、互いに助け合う気持、これはどのヨットマンも皆持っている心だと思います。互いに寛容と理解をもって解決してゆきたいと思えます。

私は日本外洋帆走協会は、外に対しては、社団法人としての社会的使命、換言すればヨットの安全、海事思想の普及なりを図るべきでしょうが、実はヨットマンの集いです。いかにクルーザー乗りが楽しく、安全にヨットをエンジョイし、会員相互がシーマンとして互いに親しく、助け合って充実したヨットिंगができるかを考えるかに重点を置いて考えてゆくべきだと確信しております。総会当日に提案された諸問題もそれぞれ意義もあり、解決に努力すべき事柄だと思います。一つ一つ協力し合って誠意をもって解決に当たしましょう。

しかし、繰り返して申しますが、お互いは所詮ヨットマンです。誰もそれで得をしようなどと考えるはいらないと思えます。大らかな海のような気持こそわれわれの誇りであり、本心だろうと確信します。シーマンの気持をいつまでも心に抱いてお互いに皆のためになってあげよう、助け合おうという気持でわれわれの集りである社団法人日本外洋帆走協会を運営し、そして充実したヨットिंगを共に楽しみたいものと衷心より念じております。

（副会長・内海支部長）

# 岐路に立つ NORC

## 危険な曲りかどで考えよう

### 〈I〉

横山 晃

2月27日の総会で石原オーナーから多くの意見があったが、それはNORCがかねてから負わされていた課題の決断を迫るものだった。

#### 1. 楽しいクラブ……

10年会員は「10年前は楽しかった」と言い、20年会員は「20年前はもっと楽しかった」と言う。

1950年代、NORCとシーホース・クラブに集まって来る人々の大部分はヨット界の権威争のムードに満足しない人々だった。

旧権威筋のレースに出場を申込みと役員が名をつらねていて、その監視の下にトゲトゲしいレースムードの中を走る。それはまるで警察と交通戦争のムードだった。

それに比べて新しい組織は極めて大らかで、誰かが「レースやろうよ」と呼びかけ、皆が日時？ コース？ などとガヤガヤしてから、さて役員は？ となると「スタート係りが居ればレースはできるよ」となるのが通例だった。

その頃は「レースがあるから出場するのではなく、皆でレースをやるのだ」と信じられていた。ことばのうえでは「……ある」と「……やる」の違いだが、活気と新鮮さと楽しさは雲泥の差で、しかも費用はかからなかった。そして費用は楽しい集会に投入され、その話題は、楽しさの永続、技術と安全の向上、仲間の結束など、常に開拓的で新鮮だったし、若い人々もよく発言し、よく働いた。

1960年代になっても、石原オーナー提唱の相模湾ポイントレース、吉谷氏提唱のクラスVレースなど、その発足は似ていたと思う。また、各地方支部にも、それぞれの楽しいムード作りと楽しいレースの歴史があると聞いている。

NORCには今でも良い伝統が続いている。だが、色々な疑問と心配が出てきた。例えば1950年代に、あんなに嫌った旧来組織のムードに、NORC自身が近づきつつあるのではなかろうか？ ……「皆でやる」という基本が失われて、管理者と受益者に別れる動機は何なのだろうか？ ……それは決して、皆が怠け者になったのではなく、全く反対にお膳立てが良すぎるのではなかろうか？ ……受益者

が本当に楽しんでいるのなら結構だが、事実は全く逆で、元々、ヨットマンは労苦そのものを喜びとする開拓精神の持ち主なのだから、お膳立てされて従って行くことには満足しないのである。考えれば最も楽しかった頃のNORCは、その全体が現在の1フリート程度の規模だった。そこまで分析すれば答えはでる。……具体的な方法は、フリート毎にガヤガヤと練って、実行すればよい……と。

NORCは公益法人なのだから、その中にいくつものクラブができるのは当然だろう。

#### 2. クラブハウス……

NORCの横浜基地には1952年頃から小さなクラブハウスがあった。それはシーホースクラブの人々が皆で資金を持ち寄り、手分けして準備し、皆でペンキ塗る、建設の喜びの結晶だった。

だが、1960年頃にはシーホースの楽しいムードが崩壊し、クラブハウスも無くなった……。この崩壊の理由として次のことがあげられる。

(1) 実業団チームが他のメンバーを無視してわがままに振舞い自分のメリットだけを主張した。(単純な受益者が出て来て、「皆で努力する」という習慣を駆逐した)

(2) 日本ヨット協会に結びつこうとする権威主義者がクラブを支配し、開拓の先達だった有能なリーダーが去った。

結局、前述の楽しいクラブが失われた時、クラブハウスはわずか1年で廃墟と化した。

他方、江の島ヨットクラブの場合は、全部を使う計画だった建物が、結局は公共施設になり、メンバーズ・オンリーの場所は片隅に追込まれた……。それは、公共の資金という紐が付いている以上は当然かも知れない。今後の場合、石原氏の言う通り「NORCは公益法人だから、政府筋の払い下げや援助を受けられる」ということだろう。だが、「公共のために使用すべきだ」というモラルの紐が付くことを覚悟すべきではなかろうか？ ……少くとも、ヨットマンが理想とするメンバーズ・オンリーのクラブハウスとして期待を掛け過ぎるのは何だろうか？

またシーボニアなど、営利企業を後援とするクラブハウスには営利の紐が付く、シーボニアは良いのだが、今後は露骨な営利クラブが続々と現れるだろうことは、すでに古屋副会長が心配しておられる通りだと思う。

クラブハウスはメンバーズ・オンリーでなくてはならない。そのためには営利や公共の紐が付いてはならない。……必要な条件は、まず最初に良くまとまったクラブであること。紐が付かないためには資金の面でも皆で努力することではなかろうか？ ……幸にして関東支部には基金がある。このような基金を更に充実して、順繰りに貸し出す方法を考えてはどうだろうか？ ……もしも、この方式が軌道に乗り、政府がこの方式を理解したうえでなら、助成金を受けてもよいのではなかろうか？ (その場合は江の島方式とは違うのだから)

(理事)

## 本部と支部活動の 接点

### 総会に対する意見

角田 博

#### ◇本部活動への討議◇

先号の大儀見さんのご意見、全くその通りだと拝見いたしました。

要約しますと、「フリートを中心とする自主的、自発的クラブ活動と、本部を中心とする、全般的、対外的問題への取組みを併行的に強化すべきだ」ということでした。

2月28日の総会ではまず本部の活動について、色々活発な意見が出ました。私としても本部体制の強化や、事務局のプロとしてのあり方などについて、つねづね意見を出しておりますので、こういった意見はとりいれて効率の高い運営をして行くべきだと思います。ただ発言にもう少しユーモアと節度があつたらと感じました。

元気があつてよろしいのですが、非礼をも省みず(?)、言いたい放題ということでしたらいただけません。

この総会は充分恥を知る人々の集りと思います。テレビの国会中継など、変にお手本にした、どぎついやりとりは困りましょう。その点自らも反省しております。

#### ◇支部活動のあり方◇

つぎに支部あるいはフリートを中心とする自主的、自発的クラブ活動ということに関連しては、この総会で「エビキュリアン事件」関係者の除名解除の問題が提起されました。

議事録によりますと「石原オーナー及び福音会員より昭和45年6月6日の第8回臨時総会によって除名処分を受けた「エビキュリアンⅡ」事件関係者、櫛原嘉男、都築勝利両名の除名処分は満1ケ年を経たならば解除してもらいたいとの動議が出された。

この要望に対し、所属支部の角田支部長から、この件については地元の東海支部で充分検討してからのこととされたいとの要望があつたが、議長より、一応出席者の意向を徴してから、再入会の申込の申請が出された時点で、総会の意を参考として理事会において入会を認めるか否かを決定すると発言あり、除名者の入会についての意志表明を挙手にて求めたところ、賛成する見解多数ということになった。」と経過が書かれてあります。

摘要すればこのようになるかとも思いますが、強引な議論によって相当混乱したことも事実です。また挙手の意味についても、私は頭から絶対反対ではないという意味に考えております。これについては次に書く状況から、判断していただけるものと思います。

#### ◇除名問題の論議から◇

ここで明らかにしなくてはなりませんが、NORCの定

款から言つて、除名の解除はないということです。これは当時からたびたび論議されたことなのです。ですから仮りに除名が不当であれば処分の取消をすべきなのであつて、正当であるとするならば、入会の申込みを認めるかどうかで議論されるわけです。結局そのように理解はされましたが、このあたりから総会の議論に混乱が生じたようにも思います。取消ならば総会、入会ならば理事会の決議事項なのです。私は両君の友人から解除したらどうかという発言があつたことについてどうこういうつもりはありません。

唐突ではあつても、勿論好意であつたと思いますし、発言は自由です。

しかし本人達から入会の希望も出ていない段階で(2ヶ月たった現在もまだ申し込みは出ておりません)なぜ実際これから一緒にやって行かなければならぬ一番の関係者の支部の意見を無視して、強引に議事をおし進め、方向づけをしなけりなかつたのでしょうか。

一体、本人達が仮りに入会を希望しているとして、どんな心構えであるか、受入れ側のフリート、支部の状態はどうであるか、たしかめなくても良いものなのでしょうか。

「支支段階で一度検討させていただきたい」という支部からの発言もあり、「支部からの出席も3名だけだから皆の意見も聞いてみたい」という意見が述べられたにもかかわらず、「総会はすべてに優先する、委任状もあることだし、この場で解除を決議したらどうか」などとまるで総会屋まがいに議事を早急に引っぱり廻す一部の方々の一体どこにフリートの自主性尊重の気持があるのでしょうか。

この場合「入れてやったらどうか」という話があつた」ということで、どうしていけなかつたのでしょうか。

卒直に申しまして私は憤慨にたえませんでした。一度立場をかえて自分のフリートのこととして考えてみてください。事態がよく分りましょう。

その後この件について当支部の常任委員会、および例会で報告が行なわれました。その結果、今までのところ、事実は事実として申し上げておきますが、いかにも支部をふみつけにした、なつとくのいかないやり方だという意見が大多数であり、かつ、入会に対しても反対もしくは批判的な意見が圧倒的でありました。

しかし、誤解のないように申しますと、私はここで「エビキュリアン事件」の関係者の入会の可否を言っているのではありません。これについては誌面でもありませんし、また別の機会もあるかと思ひます。ただこの問題は多分に本人達の反省の努力によるべきもので、私は除名後の期間の長さも考慮のうちに入れ、あらゆる点からよく吟味し、これからうまく一緒にやって行ける見きわめがつけば、前向きな考慮がされることもよいと思ひております。そういった意味で全然否定的というわけではありません。

密輸ぐらい誰でもやっているとか、私の友人だとか、色々な言葉を席上ききました、私どもお互い近くにすみ、当時の辛くもすじを通した苦しさを思い起すとき、申しわけないことですが、一体何をいつているのかとささいいたくなりました。NORCはこういった非常識や情実の横行するところでしょうか。

あの席での「密輸くらい誰でもやっている」という発言はいったいどういうことなのでしょう。

支部常任委員会でも議論的になりましたが、理解に苦しんでおります。

なお当支部では従来支部規約によって入会希望者については会員の推薦者2名を要し、支部常任委員会の承認のう

えて本部に入会申込みをいたしております。今後もこの方式は尊重していただきたく思います。終りに、当支部のことで色々皆さんに不愉快な思いをさせたことについて心からお詫びいたします。しかしながら、意見は意見として出しておくべきだとする当支部の考えから一、二書きつらねました。失礼の点はおゆるしください。(東海支部長)

## 活動の基本理念を考える

### —— 第9回通常総会に出席して ——

渡辺修治

2月27日の総会に、九州から馳せ参じたが、飛行機が霧のため遅れ、私がお馴染のマッサロンに到着したのは、議事も大分進んで、飯島理事が、運輸省からの助成金の由来を説明している最中であった。議事の進行につれて交わされる活発な応答に耳を傾けていたが、私が予期していたいつもの総会の雰囲気と違った——強いて言えば、国会とか、国交風の、固い空気に戸惑いを感じた。

終りに近くなって、石原オーナー(コンテッサII)から動議が出されたが、その骨子は次の様であったと思う。

#### ◇石原発言をめぐって◇

「現在のNORCの執行部の在り方には不満である。例えば、物品税問題、クラブハウスの問題、日本ヨット協会との連繋問題など、いずれに対しても不熱心で、メンバーの期待に応じているとは思われない。これらの問題に対しては、業務ごとに担当理事を決め、責任をもって解決すべきである。また私がかつて防衛庁に話し、クラブハウス用に、米軍が第二次大戦で使用した舟艇を無料で払い下げを受けられる様に斡旋したのに、NORCで受入れられず、流れてしまったのは残念である。」

この発言に対し、NORCのクラブハウスの意義について本質論的な意見が交わされたが、結局、「NORCがクラブハウスを持つことの賛否」について決をとることとなり、結果は賛成が多数で、石原オーナーを含む8名の実行委員が選出された。

#### ◇執行部の方向を考える◇

続いて、田辺オーナー(蒼竜)から、「NORCの執行部(理事、常任委員)の顔ぶれは、発足以来8年間、ほとんど変っていない。民間会社では、役員のほとんど全員が8年間も居座ることは考えられない。できれば、理事の半数くらいは、20才代のものでよいのではないか。」の意見が出された。

この意見は満場の支持を得、実行方法としては、フリートごとに10艇につき1名の委員を選んで人事選考委員会を作り、執行部のメンバーを選出することになった。

以上2つの動議と、それに対する決議、対策は、今度の総会の貴重な成果であり、NORCの成長と、メンバーの良識を示したものと考えてよいと思う。

しかし、これらの決議は、やり方によっては、NORCに混乱を招く恐れがある。と言うのは、NORCは、日本の他のスポーツ団体と違って、オーナーを主体とする、非

常に自主性の高い団体であり、執行部自体がオーナーである。執行部と会員は、対立した上下の関係ではない。

元来、日本のスポーツ(自分でやる)は、明治時代に学校の体育用として輸入され、それが一般に普及したものと考えられる。だから日本のスポーツ団体は、体育協会を中心に文部行政の一環として発展して来た。つまり、これらのスポーツ団体は、オリンピックや国体で見られるように、公(おおよけ)の費用を使い、指導者と競技者がはっきりわかれた役所のような組織である。

#### ◇オーナー団体としてのポリシー◇

NORCは、その発生の根拠が、体協傘下のスポーツ団体と全く異り、完全に自主的な組織である。つまり、苛酷な自然を相手とする外洋レースに、自分の責任で参加しようとするオーナーを主体とする団体で、理事はオーナーから選ばれる。

前号で、関根さん、大儀見さんが、NORCの発生から今日迄の生立ちを書いておられたが、最初、同好の士が集り、手弁当で発足したが、外洋の風波の試練をうけて成長し、時には多くの若い生命犠牲にして得たものは、次の考え方(ポリシー)である。

**責任の所在**——外洋レースに参加する者は、すべて自己の責任において参加するものであって、NORCは参加を認めた艇の安全性、乗員の能力に関しては、なんら責任を負うものではない。

つまり、外洋に於ける安全のすべての責任はオーナーにある。もちろん、それぞれ自分の好むところに従い、クルージング、デーレースまたはランデブーに羽目を外すのも結構。しかし、NORCのヨットは、いったん外洋レースに参加する時は、如何なる困難も自己の責任で乗り切る用意があるから、普段の遊びにも、自信のあるゆとりを持つことができるのである。

私は、NORCの運営の根本方針は、上記の責任のポリシーにつきると思う。運輸省の傘下に入って公益法人となったのは、国家組織の中で、正当な発言権を得るため、公の金を目当てにしたわけではない。

これからヨットが盛んになると、NORCの色々な計画に外部とのつながりが増すと思うが、外部からの援助(特に金銭的)は、フリートや同好クラブの責任に於いて応待すべきで、NORC自体は、あくまでも自主性を守り抜かなければならない。(理事)

## 柔軟なヨットライフの方向づけを

金原良一

先日の総会に出席してみて感じたことは、日本外洋帆走協会の総会が、日本オーシャンレーシングクラブの総会か、と言うことの疑問をまず持ったわけです。おおまかな感じとして、NORC派は海辺のクラブハウスに対しては、あれはベターといった気持ちで何も無理することはない程度でいい、総合的にヨットを楽しみたい人たちは無理をしてもクラブハウスを持ちたい気持ちが強いのではないかと思われました。

また、キャリアの豊かな方々は、過去10数年のヨット界の動きにとらわれすぎているようにも思われます。総ての世の中の動きが、かつて10年で変化したものが70年代は、2～3年でそれ以上になっていくであろうことを、ヨット界においてはそれ以上の加速度があることを、気がついておられない発言もあったようです。

フネというものは、一定のスピードでないと舵ききが非

常に悪いことをヨットマンなら知りすぎているわけで、現在のNORC丸の速度は1ノットは出ていないのではないかと私は思います。風を待たずに世の中の動きに合わせるためには機走でも機帆走でもいいのではないかと、そうせざるを得ないと思います。そのためには燃料も必要でしょう。物価の変動からみて今の会費でいいのかどうか、少くとも特別会員費は2～3倍の会費にしてその代り、何らかのメリットがあればいいのではないかと思います。

油壺の例でも120隻のうちNORC所属艇は44隻くらいのもので、レースをしない艇、またはレースをしたくても新しいレーサー相手では一切興味を失うといった方々は、レース以外あまりメリットのないNORCに対してそっぽを向く人が多くなるのではないかと気になります。

NORC設立の主旨からいってもそれでいいのだとは思えないわけで、その辺のところを考慮できる若い理事の選出が必要だと思います。またその方向を打出されたことは大変いいことだと思います。戦後の大変な時期から今日まで協会を持ってこられた方々の努力、苦勞に対しては深く頭をさげるわけですが、この辺から先進国のそれに一步でも近づく動きが必要な時が来たようです。

今後の人間の生活は味もそっけもないギスギスしたものになるでしょうし、それによる自律神経失調の人間も増えるでしょう。たまたま海を知りヨットを知ったわれわれだけでも人間らしい生き方の一つとして、ヨットライフの方向づけとして、日本外洋帆走協会の充実に皆で力を出そうではありませんか。

(関東支部・油壺フリートキャプテン)

## NORCのメンバーシップについて

高村 孝

### ◇入会資格の制限に思う◇

先般の総会では種々の活発な提案が出され今までにない充実したものでした。とくに人事問題、クラブハウスなどに対して討論が行われたので、あまり注意をひかれなかったように思われますが、今後のNORCのあり方についてかなり重要な方針を示すものの一つとして会員の入会資格に対する制限をもうけ、新入会員は会員2名の推薦が必要となった件があります。今までの会報に先輩諸兄が書かれていたようにクルージングクラブ・オブ・ジャパンから発展的にNORCが誕生した頃の会員総数は百数十名、加盟艇は十数艇で、アルファベットのZまで識別旗を割当てることになるのは何年先だろう、などと話し合っていたものです。

そのころは、それこそ他艇のクルーの1人1人まで全員知り合っていた間柄で、新入会員を増やすことに何の問題もありませんでした。またNORCの暗黙的な方針として、とにかく会員をふやすということに関心がはられて

きていたことは否めません。

ところが現在のように多数の会員が加入し関東支部だけでも900名の世帯になってきますと、今までのようにただ入会費だけ払えば加盟させるというやり方ではいけないのではなからうか。

### ◇メンバーへの私見◇

いっぽう、先のNORCだよりにのせられていた海上保安庁からの要望のようにできるだけ多くの未加入者を加盟させ、それらの人々に充分に海事思想を教育するというのを考えると入会資格に制限を課すことはその要望に逆行しているようにも思われます。

ここで、いったいクラブのメンバーというものはどういうものであるべきか、私が考えてきたことを述べてみたいと思います。お断りしておきたいのは、これはあくまでも私個人の意見でこれがNORCの今後の根本方針ではないということです。

今までの日本の社会では、クラブとか、クラブライフと

いうものがほとんどなかった。あったとしても、それはほんの限られた人達の中で存続していたもので、一般の人々の中にクラブという概念が存在していなかったのではないかと思います。外国においては、ゴルフにしろヨットにしろ、その地域にすんでいる人達の中から自然にカントリークラブ、ヨットクラブ、あるいはローイング・クラブというものが発生した。その結果、ゴルフコース、ヨットクラブのクラブハウスまたは付随してテニスコートやプールというものを会員の負担により建設し、維持していくという経過が一般的ようです。

そして、各地にそのようにしてできたクラブを総括するのがNORCでありCCAであるわけです。

そのクラブの建設・維持の過程で経済的にまた社会的地位などの関係で会員の資格が制限され、会員になれることに権威が生れるわけです。

これに比べ、日本では、クラブがややもするとお仕着せの的なもので、会員の自主的な運営がなおざりにされているのが普通であるようです。

しかしながら、わがNORCはその発足当初からメンバーの総意により運営されて今日にまでいたったわけなのです。発足の過程から考えても、これは海外におけるRORCやCCAよりもむしろ単一のヨットクラブ的な性格の方が強いといえるでしょう。

#### ◇フリートの持つ役割◇

また、しいていえば、現在のフリートというものが一つ一つのヨットクラブであり、NORCのメンバーになるには、まずフリートのメンバーとして加入することによってNORCと新入会員との接点ができることが望ましいわけです。それによりメンバーとしての自覚と責任がよりはっ

きり感じられるのではないのでしょうか。

今までのように、ただ本部に入会金、年会費を払えば会員になれるという状態では、新入会員に対しての連絡は、ただ本部よりの会報「NORCだより」その他による一方通行のみで、あまり知人を持たない新入会員とのコミュニケーションがはかられていませんでした。またレース参加艇も増え、艇の大きさ、性能にもきわめて差がある現状では、レースフィニッシュ後、一堂に寄り集って欲談する機会もほとんどなくなり、ますます会員相互の親睦の場がなくなっています。

#### ◇新会員との接点◇

鳥羽レースの前夜祭、夏祭りなどはたしかに盛大ですが、新入会員にとってはすぐにとけこみにくい点もあるでしょう。このようなことを考えて、とにかく最低2名の推薦者を必要とすることになれば、その2人はすくなくともNORCと新入会員との接点になる訳です。またその推薦者は単にメクラ判を押すのではなく、新しいメンバーに、NORCの基本方針クルージング、オフショアレースなどについてのシーマンシップを教える仲介者になってもらわなければならないと思います。

NORCが名実ともに日本におけるオフショアレース、ボートのナショナルオーソリティーとなりさらに活発に活動するためには、メンバー各自の自覚と責任ある行動によって裏づけられねばならないことは申すまでもないことです。新入会員の推薦のみでなく、現存の会員諸兄においても会費未納による除名などと言う不名誉な処分にならないようにクルーメンバーにご注意願いたいと思います。

(関東支部レース委員)

## 事務局だより

### 総会資料の訂正について

大変お手数をおかけして恐縮ですが、総会終了後、内海支部より前年度繰越金に間違いがあった旨報告がありましたので、過日お手元に配布いたしました昨年度決算資料につき、次の数字のご訂正をお願いいたします。

(1) 昭和45年度収支決算書収入の内海支部欄の下より3行目 297.700を270.296に、下より2行目も297.700を270.296に、従って一番下の合計は1.264.999が1.237.595になり、総合計欄の19.160.793が19.139.389となります。なおミスプリントとして関東支部欄の下より5行目預り金および6行目IRO計測の388.000は本部欄の方に移して頂きたい。

(2) 昭和45年度収支決算書(支出)の内海支部欄の下から1行目及び3行目、4行目をそれぞれ1.237.595、56.885.63.476に、また総合計を19.139.389に訂正願います。

(3) 昭和46年度収支決算書(収入)の内海支部欄の下より1行目、3行目、4行目を、それぞれ690.476、56.885、

### 会員および登録艇の現状

5月31日現在

|       | 特別会員 | 正会員 | 準会員 | TOTAL | 舟艇登録 |
|-------|------|-----|-----|-------|------|
| 関東支部  | 220  | 703 | 42  | 965   | 220  |
| 東海支部  | 39   | 100 | 0   | 139   | 42   |
| 京都支部  | 10   | 24  | 1   | 35    | 11   |
| 内海支部  | 42   | 79  | 0   | 121   | 44   |
| 西内海支部 | 9    | 23  | 0   | 32    | 8    |
| TOTAL | 320  | 929 | 43  | 1.292 | 325  |

63.476に、総合計額を19.642.167に訂正。

(4) 昭和46年度収支決算書(支出)の内海支部欄の下より1行目および2行目を、それぞれ690.476、47.596に、総合計額を19.642.167に訂正してください。

## □71年度鳥羽パールレース 前夜祭のお知らせ

NORC 東海支部

今年も恒例の鳥羽パールレース前夜祭を、下記により盛大に行いたいと思います。レース参加艇メンバーはもちろん会員他多数の参加を歓迎いたします。

日 時：7月29日 18:00～20:00

場 所：鳥羽国際ホテル

会 費：1人2,000円

## □レース委員会からの お知らせ

### OBチャレンジ カップの新設

NORCの9月以降のレースは、IOR計測を受けた艇でないと公式参加できないことになりましたが、旧RORCレーティングしか持たない古い艇(Old Boot)も、レースで活躍できるようOBクラスを設けました。

(1) 出場資格……セールナンバー100番台及び300番台で、有効な旧RORCレーティングを持っている艇。(またはこれらと同等と認められた艇)

(2) 賞……優勝艇(OBクラス総合1位)にはOBチャレンジカップ

(各レース毎の持ち回り制)を、他にOBクラス出場艇数

女性、子どもは1,000円

申込先:

＜関東支部関係＞〒105 東京都港区芝虎ノ門15虎ノ門ビル 日本外洋帆走協会関東支部

＜その他＞〒468 名古屋市中昭和区天白町八事裏山名城大学内 日本外洋帆走協会東海支部

申込期日：7月1日～19日必着(会費を添えて)

昨年から参加者も増え、今年は400～500名となる見込みです。会場整理上必ず事前に、上記により会員券をお求めください。

当日券(ただし、1名につき3,000円)も多少は用意いたしますが数が限られております。会員券をお持ちいただかないと、入場できないこともありますのでご承知ください。(東海支部理事 伏原幹一郎記)

に応じ、ウィニング・フラグを授与。(1～3位)

(3) 注記……1971年9月以降の外洋レース(ポイント・レースをのぞく)において行方。クラス別はなく、すべてOBクラスとしてエントリーする。なお、レース規則・安全規則はIOR計測の艇と同様に摘要する。

関東支部レース委員会

### 鳥羽レース第1回艇長会議日程変更

鳥羽レース第1回艇長会議は7月19日18:30～19:00、船舶ビル10階会議室にて行います。

申込締切は7月19日17:00です。

各参加艇は艇長または艇長次席が必ず出席してください。関東支部以外の方は第1回艇長会議に不参加も可。ただし、エントリー(郵送可)は申込締切りまでにNORC本部に必着のこと。

質問がある場合は名和帆走委員長(飛車角)に直接問い合せのこと。(本部 鳥羽レース帆走委員会)

## □小型船舶操縦士の 資格について

きたる7月1日以後、小型船舶操縦士免許の所有について、取締りが厳しくなるというので、種々取沙汰されている。なかにはこの資格を取得したものでなければ、ヨットに乗ることさえできないと思っている人もあるようです。とくに官庁の地方出先機関の末端の取締りにあたる役職の人の間で、その解釈にかなりの隔たりがあり、苦慮している支部もあるらしいので、中央の所管官庁である運輸省の船舶局船舶職員課の意向を略説してご参考供したい。

この問題の法的根拠となっている船舶職員法は、船舶の運航の安全を人的な面からはかるのが目的で制定された法律であり、人命の尊重が基礎となっていることはいまでもありません。したがってこの法律においても、総トン数5トン未満の船舶では、旅客の運送の用に供するもの以外は除外されています。つまり、船内業務に従事するもの、

のみが乗艇している場合は、この資格所有者をしいて乗艇させなくとも航行できます。

もちろん、日増しに交通頻繁になる海上のことですから、たとえヨットといえども、その運航に従事する者は全員小型船舶操縦士の資格くらいは持つべきであるとして、行政指導をしているが、有資格者が一人も乗艇していないからといってただちに、船舶職員法違反に問われるものではありません。ただ、「旅客」の定義が、われわれの考えているものよりも、広義に解釈されており、われわれが常識的に「旅客」ではないと思っている同乗者を、取締りに当る係官に「旅客」であると解釈されるおそれは多分にあることを承知して頂きたい。とくにヨットについては、まぎらわしいので、取締りに当る係官によってかなり異なる取扱いもあり得ることが予想されます。しかし、クルーザーともなれば、船内業務も広範囲になり、航海も長くなりますので、当直員も2直、3直となり、1直の人数も各セールごとにシートマンがつき、ヘルムに1人、また司厨員も必要となってくると、長い航海に従事するには、小さな艇でも長距離航海の際は船内業務の従事者は10人位必要となることもあると、船舶局には説明してあります。

したがって、家族といえども、乗船した以上は乗船中の職務が明確でなければなりません。また、あきらかに「旅客」である人、たとえば、ただ単に撮影のみを目的としたり、取材のみを目的とした報道関係者などを乗艇させるような場合は、小型船舶操縦士またはそれ以上の有資格者を

乗艇させる必要があります。もしこれに違反した場合は、船舶職員法違反として取締りの対象となり、オーナーは20万円以下、スキッパーは3万円以下の罰金を課せられることとなりますので充分注意していただきたいと思います。

（常務理事 高村 信）

## □海外渡航艇のけん銃等の所持について

最近、当協会登録艇で海外に渡航する艇が増加の傾向にあり、護身用のけん銃等の所持の可否につき、取締当局の見解を示して欲しいとの問合せがありましたので、海上保安庁に出頭し、次の如き回答を得たので、参考のためお知らせいたします。

1. 日本人が外国でけん銃等を取持し、所持していても、わが国の銃刀法（銃砲刀剣類所持等取締法）は摘要されない。ただし国によっては、その国の国内法によって所持を禁止されている場合もあり得るので、その国の法の摘要を受けることは当然である。
2. そのけん銃等を日本船舶内に持ち込んだ場合は、刑法により日本船舶内は日本国内とみなされることとはなっているが、銃刀法の趣旨から、この法律の摘要はないこ

ととなる。

3. けん銃等を所持する艇が、日本領海内に入る場合は、次の手続きをすることによって、銃刀法違反としても、関税法違反としても立件され処分の対象となる心配はない。

イ、国内の初めての寄港地にて、必ず税関に申告する。

（税関はこの申告に基き警察に連絡する）

ロ、この連絡を受けた警察は、銃刀法第25条を摘要し、そのけん銃等を仮領置する。

ハ、輸入及び所持の許可は受けられないから、6ヶ月後にはそのけん銃等の所有権は自動的に国に帰属することとなる。

4. 公海上で海中に投棄すると、その立証がむずかしくなり、外国で入手した事実が明らかであれば、司法警察員としての海上保安官または警察官は、国内持込みの容疑ありとして捜査せざるを得ないこととなるので、海中投棄というような処置はとらないようにお願いします。

以上の見解は警察も全く同様であることを付け加えます。

（常務理事 高村 信）

## 新登録艇の紹介

〔関東支部〕

- 1088 INDEPENDENCE スループ 9.900×7.400×2.950×1.770 平松栄一（共同オーナー） 戸田邦司氏設計 シーボニア
- 1089 ひろまるⅢ 7.400×5.800×2.400×1.200 鈴木修ミッシェル ビゴアン氏設計 フランス C.N.S.Q. 製 サムライ級 佐島係留
- 1092 桃李 312 $\frac{1}{2}$ ×242 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{2}$ ×92 $\frac{1}{2}$ ×52 $\frac{1}{2}$ ×9 $\frac{1}{2}$  三林耕士（共同オーナー） 渡辺修治氏設計 諸磯  
◎中国の史記列伝第49章に「桃李不言下自成蹊」という文があり、下二字を母校成蹊大学（学園）の校名としており、今度、部艇名を命名するにあたり上二字をとり、「桃李」とした。  
◎NORCおよび関係各所の負担とならぬよう心がけ、外洋帆走部として活躍したい。  
◎（主将）佐々木研一、（会計）甘粕順一、（副主将）小谷俊介が主力メンバーとなります。  
◎特にありません。
- 1093 BUSH スループ 7.400×5.800×2.400×1.200 岡戸稔 油壺 ミッシェル、ビゴアン氏設計 のサムライ級  
◎船型が円弧を描いていることから狐の尾に似ており、俗語（英語）から BUSH とした。  
◎レースに積極的に参加して、よいレースマナーを

学びとり、それを通じて正しく楽しいヨットクルージングを行いたい。

◎ヨットが飯よりも好きな連中を集めた。菊地浩三氏 瓜生昭一氏

◎もっとレースを計画して貰いたい。大変なことと思いますが、私達はそれが楽しみで毎週船に乗っているのですから。

- 1904 侍（さむらい） 7.400×5.800×2.400×1.200 前川勝 ミッシェル、ビゴアン設計、フランス C.N.S.Q. 製 サムライ級 油壺

- 1095 OCEAN SPIRIT 7.400×5.700×2.260×1.200 川久保史朗 VAN・DE・STADT 氏設計 諸磯

- 1096 DONGURI II 262 $\frac{1}{2}$ ×202 $\frac{1}{2}$ ×72 $\frac{1}{2}$ ×6 $\frac{1}{2}$ ×42 $\frac{1}{2}$ ×9 $\frac{1}{2}$  足立好史 BEN SEABORN 設計 横浜  
◎前艇のⅡ世号

◎クルージングにより日本を一周したい。

◎横須賀ヨット交友会のメンバーからクルーを募っている。（現在3人）

- 1097 AMIGO 7.490×6.100×2.300×1.550 川口恒司 ブルーウォーター24級 シーボニア

- 1105 VEGA 312 $\frac{1}{2}$ ×242 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{2}$ ×92 $\frac{1}{2}$ ×52 $\frac{1}{2}$ ×9 $\frac{1}{2}$  宮森和美（共同オーナー） 油壺

- 1106 ひまわりⅡ 242 $\frac{1}{2}$ ×7 $\frac{1}{2}$ ×202 $\frac{1}{2}$ ×72 $\frac{1}{2}$ ×9 $\frac{1}{2}$ ×52 $\frac{1}{2}$  小泉全治郎 江の島

◎姉の厳命(太陽の花という意味)

◎レース中心でまいります。

1107 IDLER 7.400×5.700×2.260×1.200 橋本勇夫(共同オーナー) VAN・DE・STADT 氏設計 諸磯  
〔東海支部〕

1102 KNIGHT 5.850×5.200×2.000×1.120 田中武治  
(共同オーナー・ナイト会) 鬼崎  
〔内海支部〕

1055 しらみね II 7.490×6.100×2.300×1.550 三田善美 (ブルーウォーター24級) 高松

1066 SEA LIFE 9.400×7.000×2.840×1.700 米山光男 和歌の浦

1069 ALBIREO 清水貞男 西宮

1079 ふうてん丸 有竹恒夫 須磨

1087 プラントン III 春本宜邦

1090 ST. APOLLONIA II 神原修(共同オーナー)

(注) 以上4艇はデータの報告なく、登録証明書の発行ができませんので至急本部宛お送りください

1091 茅渚 II 9.400×6.800×2.750×1.650 瀬川三郎  
VAN・DE・STADT 氏設計 西宮

## 計測の要領について

### □計測委員会からの お知らせ

#### I. IORルールに基づく計測を下記の要領で実施します

##### 1. 計測日程

- (1) 1971年度八丈島レース参加艇: 1971年1月～4月
- (2) (1)以外の艇: 1971年6月以降

##### 2. 計測申請手続 (IOR MARK II 計測申請手続等に関する施行要領参照)

- (1) 申請先: NORC本部
- (2) 申請書類その他: ①計測申込書 ②計測参考資料 ③計測料 ④計測料その他: ¥23,500 ⑤上架料: ¥200/LOA124

##### 3. 計測場所および計測員

- (1) 新規計測: ①シーボニア・ヨット・ハーバー ②宮本敏之計測員
- (2) 再計測および確認計測: ①被計測艇が所属するフリート ②NORC計測委員または計測員

##### 4. 計測手順およびレーティング証明書

計測の申込みをしてから、レーティング証明書が発行

されるまでの手順は、下図の通りです。またレーティング証明書は、計測後1ヶ月以内にNORC本部よりオーナー宛に送られます。

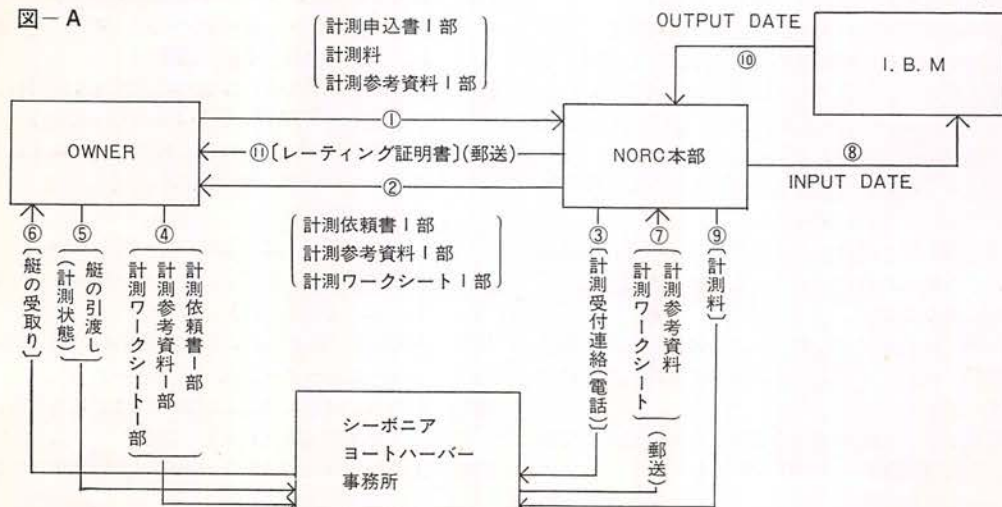
#### 5. 計測実施にともなう注意事項

- (1) 計測は、すべて、NORC本部において正式に計測の申込みが受理された艇についてのみ行われる。
- (2) 計測は、すべて、オーナーの責任において、シーボニア・ヨット・ハーバー事務所の責任者と日時および艇の受渡条件などについて、正式に取り決めを行ってから受けること。
- (3) 計測に際しては、オーナーは、ただちに計測を実施することができるように事前に艇を計測状態に準備しておくこと。
- (4) 計測に関して発生した事故については、第(2)項の取り決めに従って、オーナーとシーボニア・ヨット・ハーバー事務所との間で自主的に解決すること。
- (5) 計測データに関するクレームは、NORC計測委員会に書面で提出すること。

II. RORCルールに基づく計測で、鳥羽レースに参加を予定している艇の新規計測の申込みは、6月20日をもって締切りますので、該当する艇のオーナーは、至急NORC本部に計測の申込みを行なって下さい。

(周東記)

図-A



# NORC 登録艇一覧

1971. 5. 1. 現在

| SAIL<br>番号 | 艇 名           | RIG | RATING | T.C.F. |
|------------|---------------|-----|--------|--------|
| <クラス I>    |               |     |        |        |
| 667        | KAY SEVEN     | S   | 29.01  | .839   |
| 670        | ROCINANTE III | Y   | 30.42  | .852   |
| <クラス II>   |               |     |        |        |
| 188        | CONTESSA II   | S   | 22.57  | .775   |
| 310        | LUNA ROSSA II | Y   | 25.04  | .800   |
| 338        | MIGRATOR      | K   | 25.70  | .807   |
| 355        | LOTUS         | Y   | 24.14  | .791   |
| 358        | 潮 風 III       | S   | 23.10  | .781   |
| 380        | MISS SUNBIRD  | S   | 27.75  | .827   |
| 507        | MINERVA III   | Y   | 23.43  | .784   |
| 522        | 寅 丸           | Y   | 23.99  | .790   |
| 532        | ARTEMIS       | S   | 22.86  | .778   |
| 606        | 智 美           | S   | 22.87  | .778   |
| 640        | VAGO          | S   | 23.36  | .783   |
| 665        | と き わ         | S   | 22.68  | .776   |
| 673        | CHICADAMAS    | S   | 26.24  | .812   |
| 1001       | SEA FARER     | S   | 24.42  | .794   |
| 1052       | THREE STAR    | S   | 23.73  | .787   |
| <クラス III>  |               |     |        |        |
| 54         | STAR DUST     | Y   | 20.14  | .749   |
| 157        | BLUE RIBBON   | K   | 20.98  | .758   |
| 164        | さ が み II      | S   | 19.43  | .741   |
| 199        | SALMON II     | Y   | 20.82  | .756   |
| 316        | 神 州           | S   | 19.03  | .736   |
| 341        | SEA WITCH     | S   | 19.00  | .736   |
| 343        | 利 根           | Y   | 21.71  | .766   |
| 357        | NEPTUNE IX    | S   | 20.15  | .749   |
| 367        | TILDE         | S   | 19.31  | .739   |
| 388        | 稲 竜           | S   | 22.30  | .772   |
| 396        | さ ち か ぜ       | S   | 19.14  | .737   |
| 600        | 竜 王           | S   | 21.76  | .768   |
| 610        | 飛 車 角 II      | S   | 21.39  | .762   |
| 613        | く ろ し お II    | S   | 20.37  | .751   |
| 614        | は や ま る       | S   | 19.87  | .746   |
| 615        | 天 城           | S   | 20.20  | .750   |
| 616        | RED SHARK     | S   | 19.40  | .740   |
| 617        | 足 柄           | S   | 19.44  | .741   |
| 622        | 雲 仙           | S   | 20.62  | .754   |
| 636        | CARINA II     | S   | 20.91  | .757   |
| 671        | 智 虎           | S   | 19.12  | .737   |
| 678        | 波 勝 II        | S   | 19.92  | .746   |
| 807        | や し ろ         | S   | 20.83  | .756   |
| 1000       | 月 光 III       | S   | 21.13  | .760   |
| 1010       | 祇 王 II        | S   | 20.47  | .753   |
| 1011       | MELUSINE      | S   | 21.30  | .762   |
| 1025       | バ ハ ン         | S   | 19.52  | .742   |
| 1038       | 妙 義 II        | S   | 19.98  | .747   |

| SAIL<br>番号 | 艇 名            | RIG | RATING | T.C.F. |
|------------|----------------|-----|--------|--------|
| 1039       | TOSHI II       | S   | 19.84  | .746   |
| 1043       | MAUPITI        | S   | 20.50  | .753   |
| 1045       | CIMA II        | S   | 19.91  | .746   |
| 1048       | JOKER II       | S   | 20.21  | .750   |
| 1049       | MASTEYNA II    | S   | 19.76  | .745   |
| 1077       | WESTERLY       | S   | 20.19  | .749   |
| <クラス IV>   |                |     |        |        |
| 98         | じゃがたら丸         | S   | 17.09  | .713   |
| 178        | NOA-NOA        | S   | 17.45  | .718   |
| 183        | CYGNUS         | Y   | 17.40  | .717   |
| 184        | JOVIAL FIVE II | S   | 17.69  | .721   |
| 206        | う ず し お        | Y   | 16.97  | .712   |
| 212        | 伊 勢            | S   | 17.15  | .714   |
| 217        | あ や            | S   | 16.60  | .707   |
| 220        | AQUA MARINE    | S   | 18.44  | .730   |
| 222        | LUNA III       | S   | 17.35  | .717   |
| 227        | NAVY BLUE II   | S   | 16.63  | .708   |
| 232        | PETIT PRINCE   | S   | 16.59  | .707   |
| 237        | BUCCANEERS     | S   | 18.21  | .727   |
| 301        | ARMADA         | S   | 17.03  | .713   |
| 312        | は や と り        | S   | 16.53  | .707   |
| 315        | OLYMPUS III    | S   | 17.02  | .713   |
| 361        | CABO FRIO      | Y   | 16.95  | .712   |
| 365        | PIONEER II     | S   | 16.90  | .711   |
| 366        | も さ III        | S   | 16.82  | .710   |
| 373        | EMERADA        | S   | 17.05  | .713   |
| 374        | GALEON         | S   | 16.64  | .708   |
| 377        | TAKI           | Y   | 17.67  | .720   |
| 381        | 八 丈            | Y   | 16.72  | .709   |
| 385        | BLUE BIRD V    | Y   | 17.02  | .713   |
| 391        | は ま ゆ う        | Y   | 17.09  | .713   |
| 621        | TAIYO          | S   | 16.63  | .708   |
| 625        | AIOLA II       | S   | 18.43  | .729   |
| 628        | LE MISTRAL     | S   | 17.14  | .714   |
| 629        | 竜 飛            | S   | 16.54  | .707   |
| 635        | つ ば き          | S   | 18.99  | .736   |
| 657        | AKU-AKU II     | S   | 16.69  | .709   |
| 666        | LA DONNA II    | S   | 17.57  | .719   |
| 672        | MANDARINDUCK   | S   | 16.60  | .707   |
| 677        | AOLELE IV      | S   | 18.12  | .726   |
| 1008       | FLEURBLEUE III | S   | 18.08  | .725   |
| 1018       | 昌 代            | S   | 16.62  | .708   |
| 1037       | HOLIDAY        | S   | 16.56  | .707   |
| 1060       | SPRING         | S   | 16.96  | .712   |
| <クラス V>    |                |     |        |        |
| 73         | ドンドロ I         | S   | 16.04  | .700   |
| 162        | PHOENIX        | S   | 14.21  | .677   |

| SAIL<br>番号 | 艇 名             | RIG | RATING | T.C.F. |
|------------|-----------------|-----|--------|--------|
| 173        | SALMON I        | S   | 15.00  | .687   |
| 179        | SIRENA          | S   | 16.49  | .706   |
| 209        | HOMINISDIGNITAT | S   | 15.70  | .696   |
| 210        | QUERIDA         | S   | 15.80  | .698   |
| 214        | ALBA TROSS      | S   | 13.82  | .672   |
| 218        | あ か ちゃん         | S   | 16.04  | .701   |
| 225        | EPICURIAN I     | S   | 15.85  | .698   |
| 233        | し や ち           | S   | 16.07  | .701   |
| 319        | か ま く ら         | S   | 16.44  | .705   |
| 324        | あ き づ き         | S   | 15.09  | .688   |
| 330        | FLAMINGO II     | S   | 16.32  | .704   |
| 350        | おうりゅう           | S   | 15.04  | .688   |
| 353        | SEA CROWN       | Y   | 16.15  | .702   |
| 384        | TRUTH           | S   | 16.19  | .702   |
| 389        | NADJA II        | S   | 16.11  | .701   |
| 602        | 桜 工             | S   | 16.08  | .701   |
| 608        | 明 日 香           | S   | 16.19  | .702   |
| 609        | 彩 雲             | S   | 15.91  | .699   |
| 618        | だ ぼ は ぜ II      | S   | 16.15  | .702   |
| 619        | ひ ろ             | S   | 16.25  | .703   |
| 639        | 神 威             | S   | 15.10  | .689   |
| 641        | VELA            | S   | 14.97  | .687   |
| 642        | KELONIA II      | S   | 16.18  | .702   |
| 644        | そ よ か ぜ         | S   | 14.81  | .685   |
| 654        | BARBA ROSSA     | S   | 16.03  | .700   |
| 681        | しょうがく坊          | S   | 16.06  | .701   |
| 710        | VICTORY         | S   | 16.34  | .704   |
| 716        | JOKER           | S   | 16.18  | .702   |
| 1003       | ROSE BUD        | S   | 14.58  | .682   |
| 1009       | EME             | S   | 16.13  | .702   |
| 1012       | BACCANTCHESKII  | S   | 16.47  | .706   |
| 1016       | GRAMPUS         | S   | 14.91  | .686   |
| 1019       | 鵜 渡 根           | S   | 16.20  | .703   |
| 1020       | は げ た か         | S   | 15.97  | .700   |
| 1023       | MON-TOUR        | S   | 16.07  | .701   |
| 1029       | SAMOA Jr.       | S   | 15.01  | .687   |
| 1035       | MONKY SHINE     | S   | 15.07  | .688   |
| 1044       | HANG OVER       | S   | 15.82  | .698   |
| 1046       | SIMPLON II      | S   | 15.45  | .693   |
| 1047       | 幸               | S   | 15.31  | .691   |
| 1053       | ATHENA          | S   | 14.94  | .687   |
| 1054       | あ す な ろ         | S   | 15.04  | .688   |
| 1063       | MAREADO V       | S   | 14.71  | .684   |
| 1070       | SUNGO II        | S   | 15.32  | .691   |
| 1084       | さ ら 文           | S   | 15.03  | .688   |

# 1971年度 東海支部主催レース要項

| 月             | 日 | 4月4日(日)                                       | 5月2日(日)                               | 7月25日(日)           | 9月12日(日)                                       | 10月10日(日)                           |
|---------------|---|-----------------------------------------------|---------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------|
| レース名          |   | 伊勢湾レース                                        | 熊野レース                                 | 鳥羽レース              | ネービー・カップレース                                    | 野島レース                               |
| コース           |   | 鬼崎→伊勢湾灯標→白子→鬼崎(総てAC)                          | 鬼崎→浜島                                 | 鬼崎→鳥羽              | 鬼崎→三河大島→野島→大井港(総てAC)                           | 鬼崎→野島→鬼崎(AC廻り)                      |
| 距離            |   | 27哩                                           | 52哩                                   | 25哩                | 50哩                                            | 35哩                                 |
| スタート          |   | 06:00                                         | 00:00                                 | 00:00              | 00:00                                          | 00:00                               |
| スタートライン       |   | 鬼崎灯台と防波棚竿を結ぶ線、灯竿より沖へ300m、特設ブイまで。              |                                       |                    |                                                |                                     |
| フィニッシュライン     |   | スタートラインに同じ                                    | 同 左                                   | 同 左                | 同 左                                            | スタートラインに同じ                          |
| タイムリミット       |   | 4日 17:00                                      | 3日 00:00                              | 25日 12:00          | 12日 22:00                                      | 10日 17:00                           |
| 航跡図及報告書提出期限   |   | フィニッシュ1時間後                                    | 同 左                                   | 同 左                | 同 左                                            | 同 左                                 |
| 担当グループ        |   | ブチ・フランス                                       | シヤチ                                   | グランパス              | ネービーブルーII                                      | バックニア                               |
| 帆走委員長         |   | 伏原幹一郎                                         | 柴田俊彦                                  | 松原正勝               | 角田博                                            | 日比正光                                |
| 申込先           |   | 支部事務局                                         | 同 左                                   | 同 左                | 同 左                                            | 同 左                                 |
| 出艇料(申込料)      |   | ¥1,000 非登録艇¥10,000                            | 同 左                                   | 同 左                | 同 左                                            | 同 左                                 |
| 参加料(艇長以外の参加者) |   | 会員¥500<br>非会員¥2,000                           | 同 左                                   | 同 左                | 同 左                                            | 同 左                                 |
| 申込締切          |   | 3月25日                                         | 4月20日                                 | 7月5日               | 9月1日                                           | 9月29日                               |
| 期限後申込         |   | 申込書に出艇料の遅延料¥2,000を添え直接運営委員長まで申込みのこと。          |                                       |                    |                                                |                                     |
| 艇長会議          |   | 4月3日 19:00<br>白帆荘                             | 5月1日 19:00<br>同 左                     | 7月24日 19:00<br>同 左 | 9月11日 19:00<br>同 左                             | 10月9日 19:00<br>同 左                  |
| 表彰            |   | 貴地白桜旗                                         | 赤地白桜旗                                 | 青地白桜旗              | 緑地白桜旗                                          | 白地青桜旗                               |
| 賞杯            |   | 総合：常滑市長賞(カップ)<br>ファーストホーム：鬼崎ヨット・ハーバ協議会長賞(カップ) | 総合：千代田賞(ラット)<br>ファーストホーム：ニュー・ジャパマンリン賞 | 総合：御木本賞(カップ)       | 総合：ネービー・ブルー賞<br>ファーストホーム：(ラット)<br>ネービーブルー賞(短剣) | 総合：みなはや賞(アンカー)<br>ファーストホーム：杉山賞(カップ) |
| 表彰プレート        |   | 小型プレート各クラス毎                                   | 同 左                                   | 同 左                | 同 左                                            | 同 左                                 |
| 固有点数          |   | 5                                             | 7                                     | 5                  | 8                                              | 6                                   |

|                |                                                              |                                                                                         |                                      |                                     |                                      |
|----------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 帆走委員会の所在及連絡    | 4月3日19:00より<br>レース終了後1時間まで<br>鬼崎白帆荘<br>TEL (05694)<br>2-0533 | 5月1日19:00より<br>レース終了後1時間まで<br>鬼崎白帆荘(委員駐在)<br>2日12:00よりレース<br>終了後1時間まで浜島<br>旅館太平洋(委員長駐在) | 7月24日19:00より<br>レース終了後1時間まで<br>鬼崎白帆荘 | 9月11日19:00より<br>12日23:00まで<br>鬼崎白帆荘 | 10月9日19:00より<br>レース終了後1時間まで<br>鬼崎白帆荘 |
| 帆走委員の氏名        | 西脇良夫・松尾国昭<br>(補助員・吉田鎮平)                                      | 山田弥一・鈴木邦彦<br>(同 左)                                                                      | 和田 章<br>(同 左)                        | 広瀬隆久・三矢<br>(同 左)                    | 鈴木欽也・高橋秋人<br>(同 左)                   |
| 出艇制限           | 軽クルーザーを除く                                                    | 同 左                                                                                     | 同 左                                  | 同 左                                 | 同 左                                  |
| 緊急救助体制<br>発動時刻 | 5日 06:00                                                     | 4日 12:00                                                                                | 26日 00:00                            | 13日 08:00                           | 11日 00:00                            |
| 関係<br>海上保安庁支所  | 名古屋・四日市・鳥羽                                                   | 名古屋・四日市・鳥羽<br>浜島・尾鷲                                                                     | 名古屋・四日市・鳥羽                           | 名古屋・蒲郡・衣浦<br>鳥羽                     | 名古屋・衣浦・鳥羽                            |

(注) 1. レース運営ならびに表賞は本要項のほかNORCレース規則に定めるところにより実施される。

2. 支部年度賞は上記4レースのうち3レースの得点をもって決定され、総合1位に対してNORC会長賞、副賞(ツボイ賞)および表賞旗(白地赤桜)が、2、3位に対しては表賞旗が、クラス別入賞に対しては表賞プレートが年度末総会において与えられる。

3. 上記要項に変更あり次第、レース委員よりお知らせ致します。

## 1971年度 鬼崎フリースト主催レース要項

| 月 日       | 3月14日(日)                                                           | 4月18日(日)       | 5月23日(日)       | 6月13日(日)       | 7月11日(日)       | 8月14日(土)  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------|
| レース名      | 第1回伊勢湾ポイントレース                                                      | 第2回伊勢湾ポイントレース  | 第3回伊勢湾ポイントレース  | 第4回伊勢湾ポイントレース  | 第5回伊勢湾ポイントレース  | 伊良湖レース    |
| コース       | ① 鬼崎→伊勢湾灯標→鬼崎<br>沖灯標→鬼崎<br>② 鬼崎→鬼崎沖灯標→伊勢<br>湾灯標→鬼崎                 | ① 同 左<br>② 同 左 | ① 同 左<br>② 同 左 | ① 同 左<br>② 同 左 | ① 同 左<br>② 同 左 | 鬼崎→伊良湖    |
| 連数        | 10                                                                 | 10             | 10             | 10             | 10             | 23        |
| スタート時刻    | 10:00                                                              | 10:00          | 10:00          | 10:00          | 10:00          | 14日 00:00 |
| スタートライン   | ① 鬼崎Ltと防波棚灯竿を結ぶ線より沖へ300m設特ブイまでの間 ② 鬼崎Ltを真東90°にて視認する線(防波棚灯より300m以内) |                |                |                |                |           |
| フィニッシュライン | 伊良湖港Ltを180°にて視認する点(伊良湖Ltより500m以内)                                  |                |                |                |                |           |

スタートラインと同じ

| タイムリミット             | 14日 15:00                                              | 18日 15:00           | 23日 15:00              | 13日 15:00         | 11日 15:00              | 14日 12:00                                |
|---------------------|--------------------------------------------------------|---------------------|------------------------|-------------------|------------------------|------------------------------------------|
| 航跡図及び報告書<br>提出期限    | フィニッシュタイムを<br>即時報告                                     | 同 左                 | 同 左                    | 同 左               | 同 左                    | 航跡図及び報告書、並<br>びにフィニッシュタイ<br>ムをフィニッシュ1時間内 |
| 担当グループ              | しやち                                                    | 零                   | プチ・ブランス                | アルバトロス            | バックニア                  | ル ナ III                                  |
| 帆走委員長               | 柴田俊彦                                                   | 古橋武生                | 伏原幹一郎                  | 坂井繁之              | 日比正光                   | 水上健                                      |
| 申込先                 | 支部事務局                                                  | 同 左                 | 同 左                    | 同 左               | 同 左                    | 同 左                                      |
| 出艇料(申込料)            | 500円<br>(非登録艇 2,000円)                                  | 同 左                 | 同 左                    | 同 左               | 同 左                    | 1,000円<br>(非登録艇 10,000円)                 |
| 参加料<br>(艇長以外の参加者)   | 会員200円<br>(非会員500円)                                    | 同 左                 | 同 左                    | 同 左               | 同 左                    | 会員500円<br>(非会員 2,000円)                   |
| 申込締切                | 3月8日(月)                                                | 4月12日(月)            | 5月17日(月)               | 6月7日(月)           | 7月5日(月)                | 8月5日(金)                                  |
| 期限後申込               | 申込書に出艇料及び遅延料1,000円を添え直接フリー・キャプテンまで申込む 艇長会議後の申込みは受付けない。 |                     |                        |                   |                        |                                          |
| 賞杯                  | チタ杯                                                    | チタ杯                 | チタ杯                    | チタ杯               | チタ杯                    | チタ杯                                      |
| 表彰プレート              | 小型プレート(総含入賞艇)                                          | 同 左                 | 同 左                    | 同 左               | 同 左                    | 同 左                                      |
| 固有点数                | 3                                                      | 3                   | 3                      | 3                 | 3                      | 5                                        |
| 帆走委員会の所在<br>および連絡方法 | 当日08:00よりレース終了後1時間まで鬼崎白帆荘(委員駐在)                        |                     |                        |                   |                        |                                          |
| 帆走委員の氏名             | 山田、鈴木<br>(補助員、吉田鍊平)                                    | 岡田、長尾<br>(補助員 吉田鍊平) | 西脇、今関、小島<br>(補助員 吉田鍊平) | 沢田<br>(補助員 吉田鍊平)  | 高橋、鈴木、岩田<br>(補助員 吉田鍊平) | 村松、浅井、赤井<br>(補助員 吉田鍊平)                   |
| 出艇制限                | なし                                                     | なし                  | なし                     | なし                | なし                     | なし                                       |
| 関係海上保安支所            | 名古屋                                                    | 名古屋                 | 名古屋                    | 名古屋               | 名古屋                    | 名古屋・伊良湖                                  |
| 艇長会議                | 3月14日<br>08:00白帆荘                                      | 4月18日<br>08:00白帆荘   | 5月23日<br>08:00白帆荘      | 6月13日<br>08:00白帆荘 | 7月11日<br>08:00白帆荘      | 8月13日<br>08:00白帆荘                        |

(注) 1. レース運営並びに表彰は本要項のほかNORC規則に定めるところにより実施される。2. 鬼崎フリー・ト年度賞は上記5レースのうち4レースの得点と伊良湖レース(このレースの得点は2倍に計算される)の得点の合計をもって決定され総合1位は鬼崎フリー・トカップ、表彰プレート及び表彰旗(赤緑・白地赤桜)を、2、3位は表彰旗および表彰プレートが年度末総会にて与えられる。3. レーティングLWLにてTCFは $\frac{1}{R+3}$ とする。クラス別はなし。4. コース及びスタートラインは艇長会議にて選択(①、②)決定する。

# 1971年度 京都支部レーススケジュール

| 月    | 日   | レース名 | コース                   | 距離 | 当番 | 帆走委員  | 摘要                                                      |
|------|-----|------|-----------------------|----|----|-------|---------------------------------------------------------|
| 4/20 | (日) | 沖ノ島  | 反時計<br>大橋-沖ノ島-大橋      | 19 | 湊  | 秋山 福夫 | スタート<br>タイムリミット<br>4/20<br>" 09:00<br>18:00             |
| 5/1  | (土) | 奥ビワコ | 大橋-塩津港                | 26 | "  | 山田 明男 | スタート<br>タイムリミット<br>5/1<br>5/2<br>(5/2 13:00よりビール・バーティイ) |
| 6/5  | (土) | 多景島  | 時計廻り<br>大橋-多景島-沖ノ島-大橋 | 32 | "  | 北岡 正一 | スタート<br>タイムリミット<br>6/5<br>6/6<br>18:00<br>17:00         |
| 7/11 | (日) | 近江舞子 | 反時計<br>大橋-近江舞子-大橋     | 13 | "  | 秋山 福夫 | スタート<br>タイムリミット<br>7/11<br>" 09:00<br>17:00             |
| 10/2 | (土) | 竹生島  | 時計廻り<br>大橋-竹生島-KYC    | 52 | "  | 松居 実  | スタート<br>タイムリミット<br>10/2<br>10/3<br>17:00<br>19:00       |

- 出場申込は各レースの1週間前まで。 申込料 ¥1,000 出艇料 ¥1,000
- 帆走指示書はレース当日渡します。
- 奥ビワコレース終了後ビール・バーティイを聞きます。 会費1人¥700(準備の都合がありますのでスタート前に申込んで下さい)
- 例年お問合せのあることですが、NORC登録艇は本部、支部に拘らずどの水域のレースにも同等の資格で出場出来ます。

## 1971年度 内海支部主催レース要項

| レース名      | 幅摩灘                                 | 大阪湾横断            | 洲本               | 紀伊水道             | 高松            |
|-----------|-------------------------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| 帆走委員      | 神村 正弘                               | 塩見 勝茂            | 中庭祐蔵・馬服広志        | 谷川 晴彦            | 福谷 修          |
| 日         | 11/21 07:00                         | 5/23 05:00       | 9/24 03:00       | 10/16 23:00      | 12/4 21:00    |
| コース       | 的形-上島-鞍掛-的形                         | 須磨-飯ヤ-黒崎         | 洲本-西宮            | 新和歌浦-大島-新和歌浦     | 的形-高松         |
| 湊         | 18                                  | 25               | 32               | 約120             | 45            |
| スタートライン   | 的形港外                                | 妙法寺川川口           | 西宮港外             | 新和歌浦             | 的形港外          |
| フィニッシュライン | 同上                                  | 黒崎港              | 洲本港外             | 同上               | NO1ブイと長崎鼻を結ぶ線 |
| タイムリミット   | 11/21 16:00                         | 15:00            | 15:00            | 10/19 10:00      | 12/5 11:00    |
| 申込先       | 内海支部事務局西宮市西波止町2-1 TEL. 0798-26-0691 |                  |                  |                  |               |
| 出艇料       | 登録艇 ¥1,000<br>未登録艇 ¥1,500           | ¥1,000<br>¥1,500 | ¥1,000<br>¥1,500 | ¥3,000<br>¥4,000 | ¥2,000        |

|                   |                                                     |                                                      |                                                     |                                                                                       |                                                                                             |                |
|-------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 参加料               | 会員登録なし<br>¥500                                      | 会員登録なし<br>¥500                                       | 会員登録なし<br>¥500                                      | 会員登録なし<br>¥500                                                                        | 会員登録なし<br>¥500                                                                              | 会員登録なし<br>¥500 |
| 資格                | 登録艇及非登録艇                                            | 左に同じ                                                 | 左に同じ                                                | 左に同じ                                                                                  | 登録艇                                                                                         | 左に同じ           |
| 安全規則              | NORC内海支部特殊<br>安全規則に合格する艇                            | 左に同じ                                                 | 左に同じ                                                | 左に同じ                                                                                  | NORC<br>安全規則に合格する艇                                                                          | 左に同じ           |
| 安全備品点検            | 11/20 18:00                                         | 5/22 19:00                                           | 9/23 18:00                                          | 10/16 18:00                                                                           | 12/4 18:00                                                                                  | 12/4 18:00     |
| 艇長会議              | 11/20 20:00                                         | 5/22 20:00<br>須磨<br>於須磨ヨットハーバー                       | 9/23 20:00                                          | 10/16 19:00<br>於 和歌山青少年<br>海洋訓練所                                                      | 12/4 19:00                                                                                  | 12/4 19:00     |
| 申込期日              | 11/10                                               | 5/13                                                 | 9/14                                                | 10/9                                                                                  | 11/24                                                                                       | 11/24          |
| 安全規則講義            | 11/22 19:00                                         | 5/22 19:00<br>於須磨ヨットハーバー                             | 9/23 19:00                                          |                                                                                       |                                                                                             |                |
| 乗権・事故・緊急事態発生時の連絡先 | 姫路海上保安署<br>0792-35-1016<br>的形ヨットクラブ<br>0732-54-0923 | 神戸海上保安部<br>078-331-6742<br>須磨ヨットハーバー<br>078-731-6987 | 神戸海上保安部<br>078-331-6742<br>関西ヨットクラブ<br>0798-26-0691 | 田辺海上保安部<br>0739-2-2000<br>下津海上保安部<br>07349-2-0113<br>大和造船<br>07349-2-2593<br>日和佐海上保安署 | 姫路海上保安署<br>0792-35-1016<br>高松海上保安部<br>0878-21-7011<br>高松ヨットハーバー<br>的形ヨットクラブ<br>0792-54-0928 |                |
|                   | 11/20 21:00<br>1人 ¥500<br>於的形ヨットクラブ                 | 21:00<br>須磨ヨットハーバー<br>1人 ¥500                        | 9/23 21:00<br>於関西ヨットクラブ<br>¥500                     | 20:00<br>於和歌山海洋訓練所<br>1人 ¥500                                                         | 庵治にて13:00より<br>1人 ¥1,500<br>レース申込と同時に<br>参加人数を通知下さい                                         |                |